

SONY

Sony IR Day 2018

オペレーション・販売 プラットフォーム ホームエンタテインメント&サウンド分野

2018年5月22日

ソニー株式会社 執行役 EVP
ホームエンタテインメント&サウンド事業担当、コンシューマーAV セールス&マーケティング担当
生産・物流・調達担当

ソニービジュアルプロダクツ株式会社 代表取締役社長
ソニービデオ&サウンドプロダクツ株式会社 代表取締役社長

高木 一郎

目次

1. 一貫通貫の取り組み

1. 生産・調達・物流
2. 販売

2. HE&S分野

1. 2017年度の総括
2. 2018年度の取り組み
 - ・ テレビ事業
 - ・ ビデオ&サウンド事業
 - ・ 業績見通し
3. 2020年経営数値目標

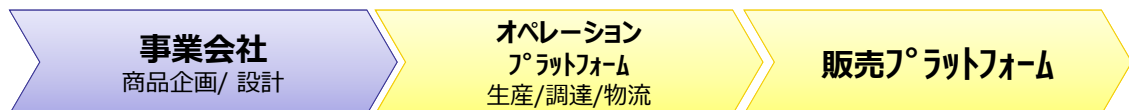
3. 参考資料

1. 一貫通貫の取り組み

Sony IR Day 2018

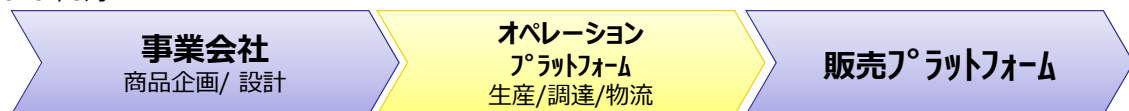
一貫通貫の取り組み

～2015年3月

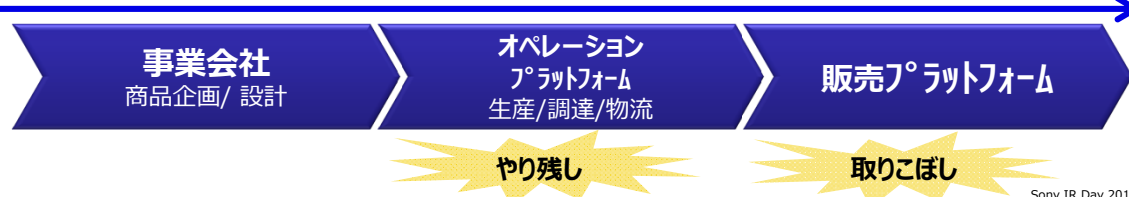


2015年4月
～2018年3月

事業会社と販売の連携 →ロスコスト ミニマイズ +50～150億円



2018年4月～ One directionにより、バリューチェーンを効率化



Sony IR Day 2018

生産・調達・物流の取り組み

◆ 生産

- ・ 事業戦略にアラインした生産戦略の実行と効率を追求したすり合わせ実施
- ・ 商品戦略を支える、自動化を含む生産技術力強化

◆ 調達

- ・ 事業・商品戦略に基づくキーパートナーとの調達戦略再構築
- ・ One Sonyでのソーシング戦略の見直しに基づく安定調達と最適部品コスト実現

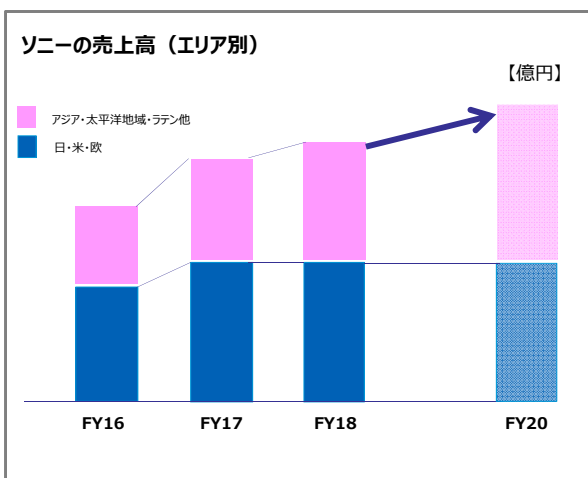
◆ 物流

- ・ 販売チャネル戦略に基づく、ダイレクトシップの拡大、かつ効率的物流運営
- ・ 市場販売状況に連動した効率的輸送手段の選択

Sony IR Day 2018

販売の取り組み

地域&カテゴリーを絞った販売戦略の実行



■ 中国含むアジア・太平洋地域・ラテン他

- ✓ オーディオなどの成長領域中心に重点投資
- ✓ 販売オペレーション力の強化

■ 日・米・欧

- ✓ 市場ポジションの堅持
- ✓ リスクコントロール
(需要見込精度、製販コントロール向上によるムダなコスト削減、収益力UP)

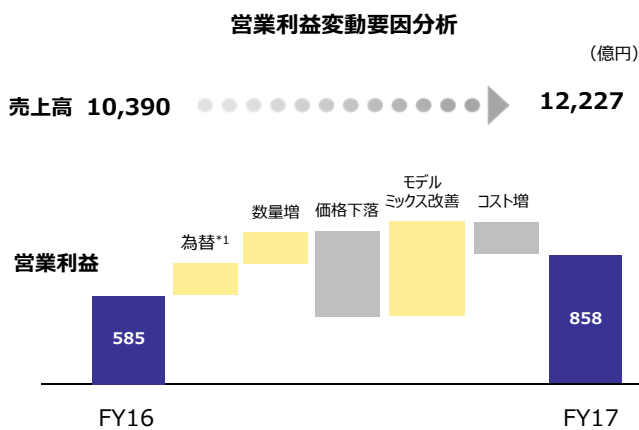
Sony IR Day 2018

2. HE&S分野

Sony IR Day 2018

2017年度の総括

ホームエンタテインメント&サウンド分野



成果

- テレビ事業
 - OLEDモデル導入によるプレミアム市場でのブランドポジション確立
 - OLED/4K/大型モデルを中心とした高付加価値商品戦略による収益性改善
 - 環境変化に対する製販オペレーション対応力強化・在庫の適正レベル維持等による採算構造の改善
- ビデオ&サウンド事業
 - オーディオ成長領域を軸にした売上拡大
 - 高付加価値モデルによる収益性の改善
 - ブランディングの向上

課題

- テレビ事業
 - パネル市況等環境変化への対応
- ビデオ&サウンド事業
 - オペレーションの改善
 - 販売との連携強化

*1: 2017年度実績における通貨別売上高及びコストの金額を元に為替変動による前年度比影響額を試算

Sony IR Day 2018

高付加価値を追求し、安定した経営基盤を堅持

◆商品力

独自技術による最高の顧客体験を提供
将来に向けた技術開発への継続投資

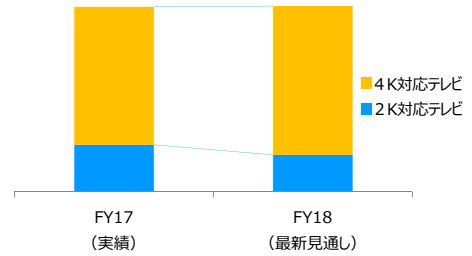
◆コスト競争力

適正費用コントロールと材料の戦略的安定調達

◆オペレーション力

製造～販売までの一気通貫オペレーションの
継続進化（環境変化への即応力）

ソニーのテレビ売上高



項目	FY17 (実績)	FY18 (最新見通し)	注
4K対応テレビ比率* (数量ベース)	35%	45%	(市場)
平均インチサイズ*	44インチ	45インチ	(市場)
	46インチ	47インチ	(ソニー)

* 出典：ソニー調べ

Sony IR Day 2018

“プレミアム4K”市場の拡大を牽引



最高画音質



X-Motion Clarity

X-tended Dynamic Range PRO

リビングに映える
佇まい



Acoustic Surface

使いやすさ

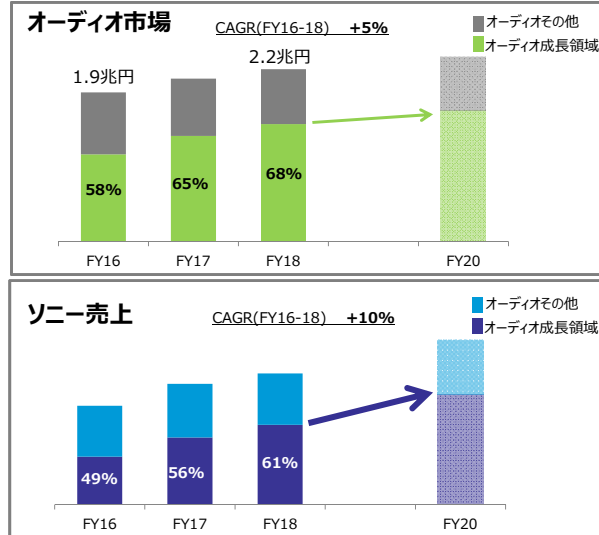


android tv



Sony IR Day 2018

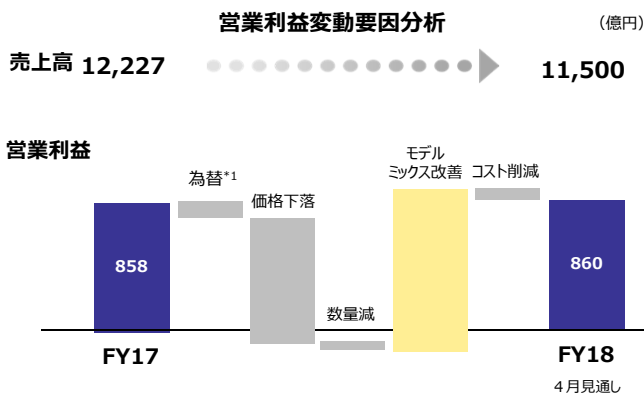
成長領域の商品力強化による持続的な売上成長と収益性の堅持



- ◆ オーディオ成長領域の商品力強化 (ヘッドホン、ワイヤレススピーカー)
- ◆ 将来の成長のための技術開発投資 (臨場感ある音場づくり)
- ◆ オペレーション力の強化
- ◆ 販売との連携強化

Sony IR Day 2018

業績見通し



テレビ事業

- 独自の高画質・高音質技術と高いデザイン性・操作性による商品の更なる付加価値向上
- 地域の特性に合わせた商品・販売展開
- 環境変化に即応するオペレーション力の更なる向上

ビデオ&サウンド事業

- オーディオ成長領域の商品力強化
- オペレーション力の強化
- 販売との連携によるエリア対応

*1: 2018年度事業計画における通貨別売上高及びコストの金額を元に為替変動による前年度比影響額を試算

Sony IR Day 2018

■ **営業利益** : **750~1,050 億円**

※売上高イメージ (参考値)
12,000 億円

高付加価値を軸とした商品力強化と
一貫通貫オペレーションの強化により
継続的にキャッシュを生み続ける

SONY

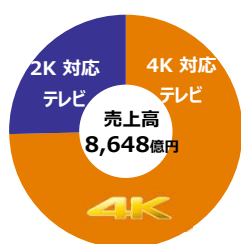
3. 参考資料

Sony IR Day 2018

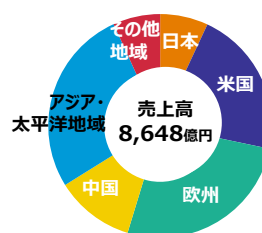
テレビ事業 2017年度 製品別/地域別売上構成比・数量/金額シェア

ホームエンタテインメント&サウンド分野

■ 製品別売上構成比

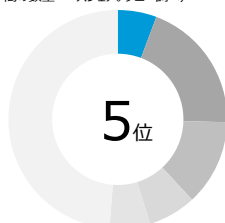


■ 地域別売上構成比



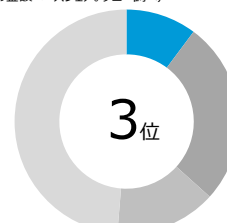
■ メーカー別液晶テレビ 数量シェア

(直近1年間の数量ベースシェア。ソニー調べ)



■ メーカー別液晶テレビ 金額シェア

(直近1年間の金額ベースシェア。ソニー調べ)

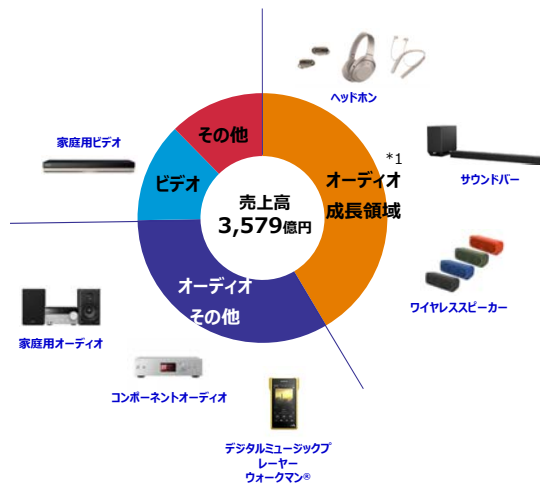


Sony IR Day 2018

ビデオ&サウンド事業 2017年度 主要製品別・地域別売上構成比

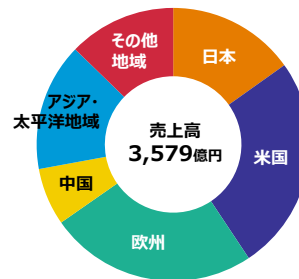
ホームエンタテインメント&サウンド分野

■ 主要製品別売上構成比



*1：オーディオ成長領域には、ヘッドホン、サウンドバー、ワイヤレススピーカーが主要製品として含まれています。

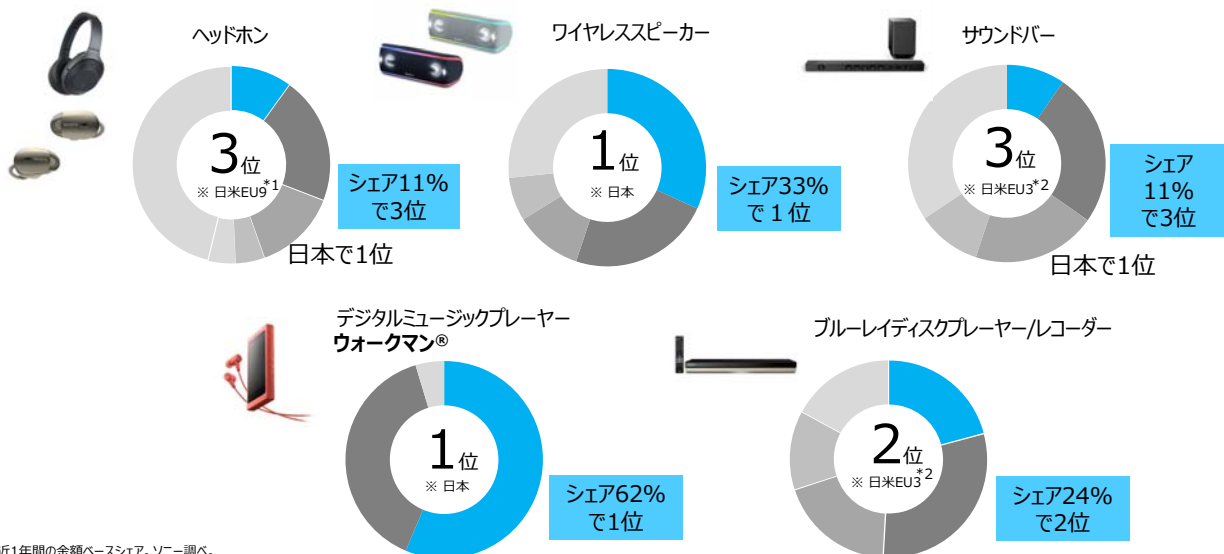
■ 地域別売上構成比



Sony IR Day 2018

ビデオ&サウンド事業 主要製品別のシェア（金額ベース）

ホームエンタテインメント&サウンド分野



※ 直近1年間の金額ベースシェア。ソニー調べ。

*1：EU9：イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、オランダ、スウェーデン、ポーランド、チェコ

*2：EU3：イギリス、フランス、ドイツ

Sony IR Day 2018